

* 下記の日本語文書は参考のための仮翻訳で、正文は英文です。

ムフィ・ハネマン市長挨拶

私は全米で一番背が高い市長として知られていますが、今日はさらに高い壇上から御挨拶申し上げます。

こうして、特別名誉市民の称号を他ならぬ広島市からいただいたということを、大変誇りに思うと同時に、謙虚な気持ちで受けとめています。広島市からは、かつて優れた人材がホノルルに渡られ、今日のホノルルが築かれたからです。1885年から今日に至るまで、広島から移住された方々による多大な影響と貢献があったからこそ、今日の美しいホノルルがあるのだと思っています。

また、広島市は素晴らしい秋葉市長の下、過去に人類を脅かした核兵器が、今後脅威を与えることのない平和な世界の実現に向け、国際舞台でリーダーシップを発揮されています。

ここ4年間は、ホノルルの日にメッセージを送ることだけしかできませんでしたが、本日はこうして一緒にホノルルの日を祝うことができました。ホノルル市から訪問した姉妹都市提携50周年記念委員会を始めとした代表団、また日本人の血を引く市議会議員や議員と共に、今夜ホノルルの日を祝福することができ、市長としてとても誇りに思います。

新たな50年に向け、広島市とホノルル市の関係が「いちばん」だ、と世界中の都市が羨むような姉妹都市関係の土台を築いていくことを、今夜皆さまに誓います。

今回の私たち訪問が素晴らしいものになるよう御尽力いただいた広島市民の皆さんに「マハロ」、「どうもありがとうございます」とお礼を申し上げます。なかなか広島市を訪問することができませんでしたが、マッカーサー元帥が言ったように私は何度も何度もここへ戻って参ります。

広島市とホノルル市の姉妹都市関係がこれから50年、互いに寄与し合うとともに、両市が平和の心と“アロハスピリッツ”で世界を牽引していけるよう祈念いたします。

どうもありがとうございました。